

「四郷 まちづくりのあゆみ」編さんについて

四郷駅周辺土地区画整理事業が終了し、区画整理組合が解散する際、まちづくりの経緯を後世に残すために冊子を作成し、関係住民に配布することとなりました。組合は解散してしまうため、下古屋自治区に編さん業務の依頼とそのための資金を提供し、実施されています。その概要を以下に記します。

1 冊子のタイトル

四郷まちづくりのあゆみ（四郷駅周辺の整備）・・・仮題

2 概要

四郷駅周辺において、先人たちが町の発展・住みよい地域づくりのためにどのような取り組みを進めてきたのか、資料や写真、回顧談などで紹介し、記録として残す。

3 想定読者

四郷地区住民

4 出版の目的

まちづくりの経緯を住民に広く知ってもらうことで、まち（地域）の歴史への興味を喚起し、地元への愛着を深め、まちの将来への関心を高める。

5 編さん作業

区画整理事業関係者代表と自治区役員、オブザーバーとして豊田市生涯活躍部担当による編さん委員会を組織し、編さん専門業者（毎日新聞名古屋開発(株)）と連携し編さん作業をすすめる。

6 制作期間

2023年 5月	制作準備開始
2023年10月	毎日新聞名古屋開発(株)と契約締結
2023年12月	デザインラフの提出
2024年12月	納品

7 必要経費

寄付金額 865万円（契約金額8,481,000円＋諸経費169,000円）
（豊田市都市整備部区画整理支援課の指導のもと毎日新聞名古屋開発(株)と区画整理組合の調整の結果、寄付額が決定）

寄付受領	2023年10月	8,650,000円
契約締結時支払い	2023年11月	1,696,200円（契約金額の20%）
残額	2024年 3月	6,953,800円